

辻議員（共産）

令和4年2月22日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）少人数学級の実現について

鳥取県では、きめ細かい授業の促進などを目的に、県独自で小学校の全学年で30人以下学級を実施していこうとなっている。きめ細かく、行き届いた教育を進めていくという立場で対応すべきではないか。予算にしても、480名増員、38億円余の予算がかかるようだが、実施できるためには、計画的に進めていくべきだと思うが、改めて認識を伺う。

（答）

少人数学級の拡充につきましては、先程、答弁申し上げましたように、多額の経費負担を伴うことから、国が責任を持って、標準法の改正を行い、実施されるべきものと考えており、全国知事会や全国都道府県教育長会を通じて要望してまいりました。

今後につきましても、引き続き、国に対して、様々な機会を通じて、要望してまいりたいと考えております。